

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド（便器部）

BF/BHF

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

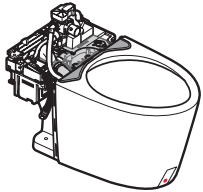
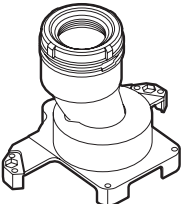
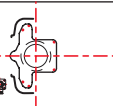
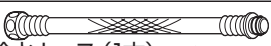
	 は、してはいけない「 禁止 」内容です。 左図は、「 禁止 」を示します。		 は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。 左図は、「 必ず実行 」を示します。
---	--	---	---

 注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

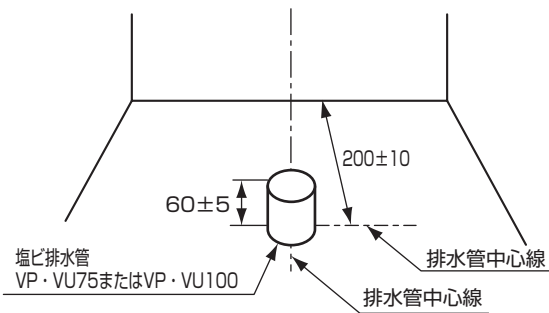
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水ソケット	固定片
 (1個)	 排水ソケット (1個) ※パッキン付き	 固定片 (1個)
 すっきりパネル(左) (1個)		 接着ブロック (1個)
 すっきりパネル(右) (1個)		 木ねじ (φ6×40：2本)
給水金具	固定金具類	その他
 止水栓 (1個)	 六角ボルト (2本)	 本紙 施工説明書 (1部)
 床継手 (1個)	 クイック ファスナー (1個)	
 エルボ (1個)	 ナット (2個)	 ワッシャー (2個)
 ストレート管 (1個)	 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60：6本)	
 フランジ (1個)	給水ホース	 位置決めシート (1部)
 分岐金具 (1個)	 パッキン (1個)	
 木ねじ (床継手用) (φ4×30：4本)	 給水ホース (1本) ※パッキン付き	 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に 貼り付けてあります。
		 水受けトレー (寒冷地のみ：1個) ※お客様に渡してください。

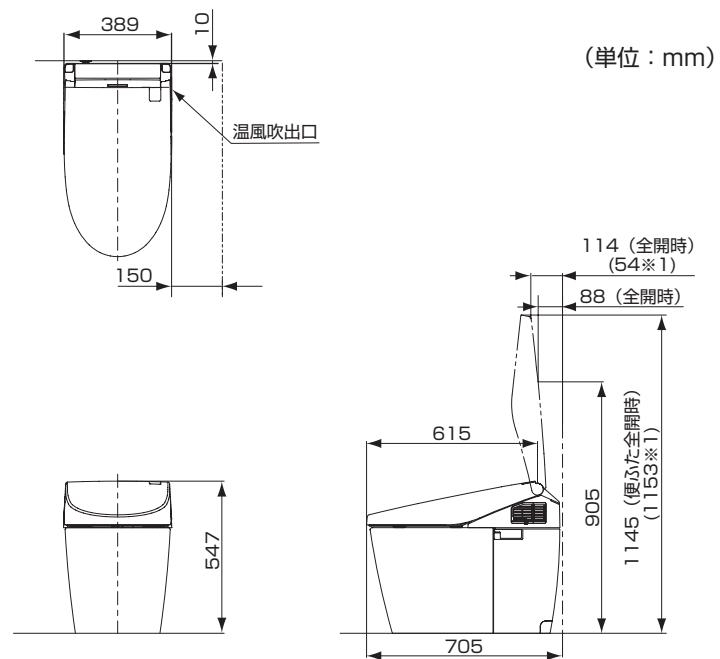
取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。（壁が変色する原因となります）
- ネオレストAH・RHタイプは、後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。
(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V（50/60Hz）、定格消費電力は
AH1：1286W、AH2・AH3：1381W
(ヒーター付便器の場合はAH1：1326W、AH2・AH3：1421W) です。
- 電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、
最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げソケット(HH01001R)をご購入ください。

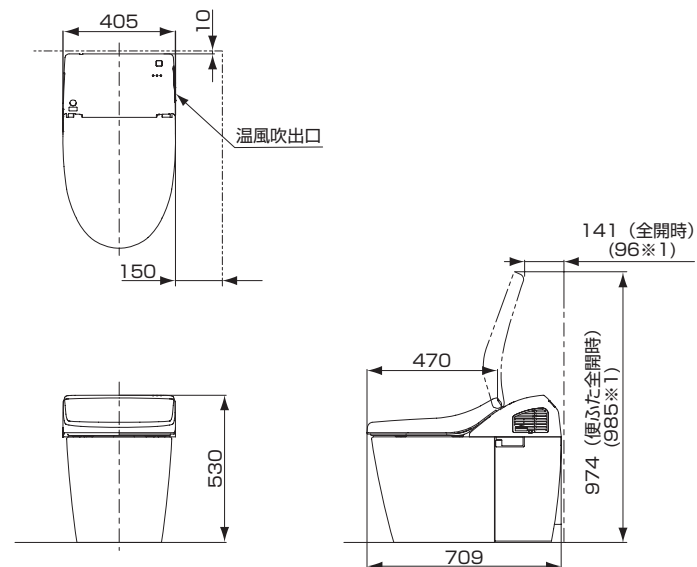
(単位：mm)



商品セット図
(施工完了図)
AHタイプ



商品セット図
(施工完了図)
RHタイプ



※寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
※1 お掃除リフト時の寸法となります。

給水位置の確認

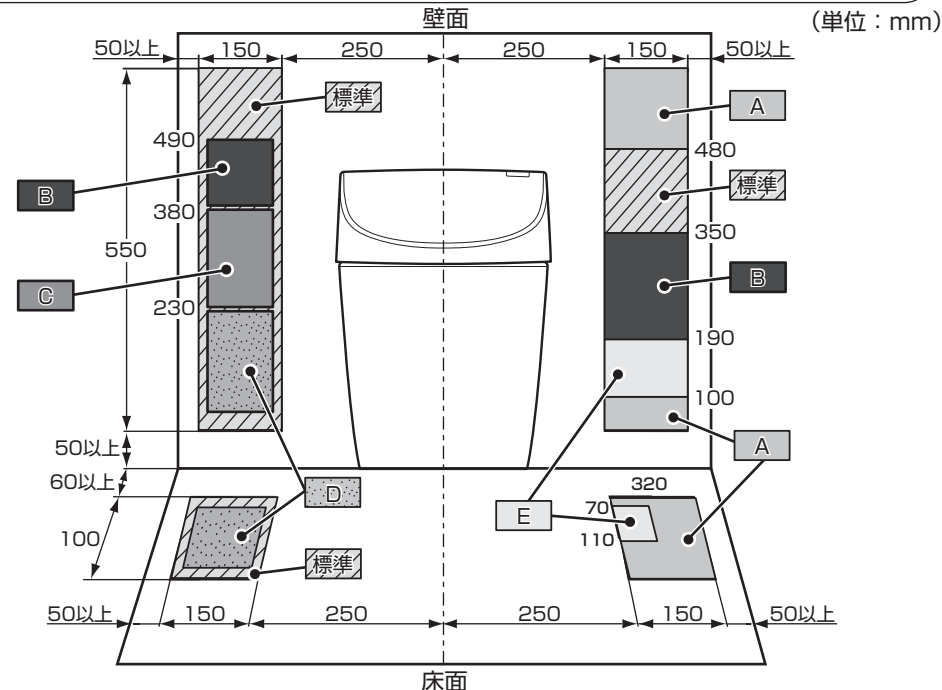
⚠ 注意



給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。



ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。



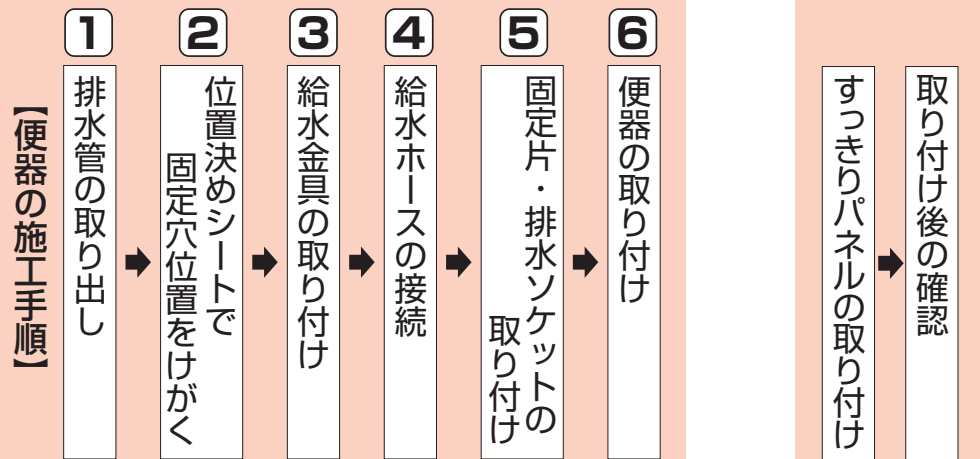
- 給水ホースオプション（A～E）を使うと、給水ホースがきれいに納まります。
- 右給水の場合や給水ホースの過不足がある場合、長さ違いの給水ホースをご購入ください。

給水位置	大便秘器用給水ホース品番	ホース長さ	対応範囲（上図参照）
標準	同梱の給水ホースをご使用ください。	700mm	左給水全範囲および右壁の一部
A	TN111L86	860mm	Aの範囲の最適長さです。
B	TN111L552	550mm	Bの範囲の最適長さです。
C	TN111L45	450mm	Cの範囲の最適長さです。
D	TN111L40	400mm	Dの範囲の最適長さです。
E	TN111L37	370mm	Eの範囲の最適長さです。

※寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。

施工手順

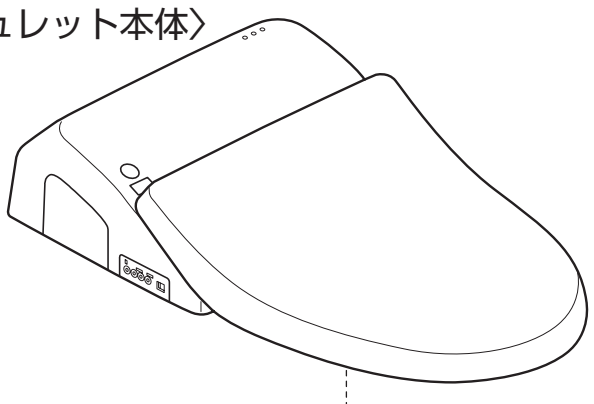
この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。
（ は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください）



各部のなまえと施工のポイント

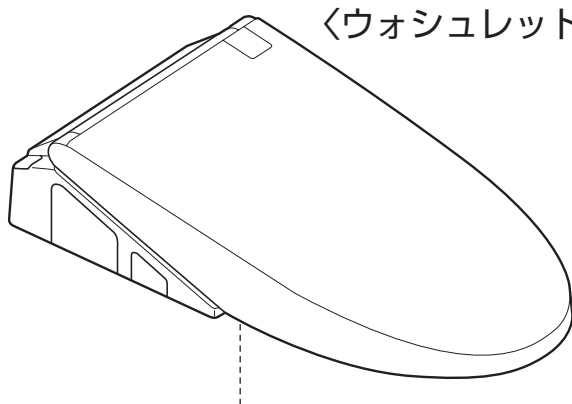
＜ウォシュレット本体＞

RHタイプ



＜ウォシュレット本体＞

AHタイプ



便器ヒーター用プラグ



水受けトレイ
※お客様に渡してください。
＜ヒーター付便器の場合＞

ポイント⑥

すっきりパネルの取り付けは
ウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！

すっきりパネル（左）

キャップ

ポイント③

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れ、およびすっきりパネルとの干渉に注意すること！
（⇒④）

給水ホースの取り回し例（床給水）

ポイント⑤

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！
（⇒⑥）

外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

面ファスナー

六角ボルト

止水栓

給水フィルター

分岐金具

ポイント①

必ず60±5mmで切断すること！（⇒①）

木ねじ（φ6×60）

止め金具

「まえ」表示

排水ソケット

接着ブロック

木ねじ（φ6×40）

固定片

ポイント②

位置決めシートで固定片の位置を
きちんと出すこと！（⇒②）

ポイント④

- 排水ソケットの取付方向を間違えないこと！
「まえ」表示のある方が便器前面側となります
- 接着剤塗布位置を間違えないこと！
排水ソケットは内周、排水パイプは外周です
- 排水ソケットと排水パイプは両方に接着剤を塗布すること！（⇒⑤）

すっきりパネル（右）

便器

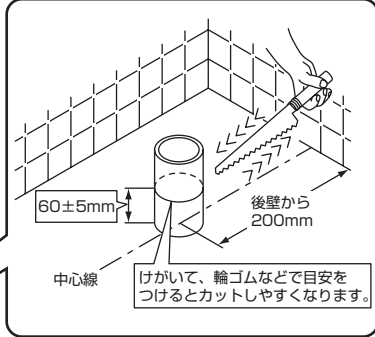
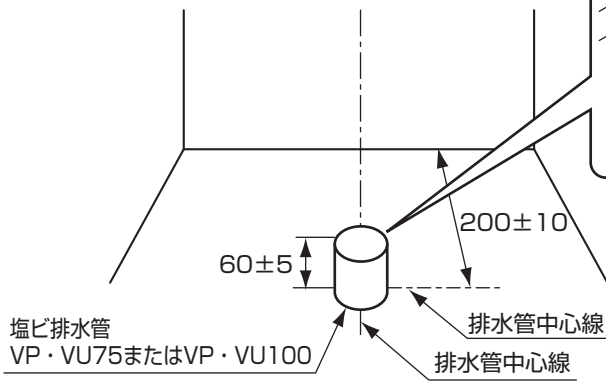
センターラベル

取付方法

1 排水管の取り出し

排水管を所定の位置に取り出す。

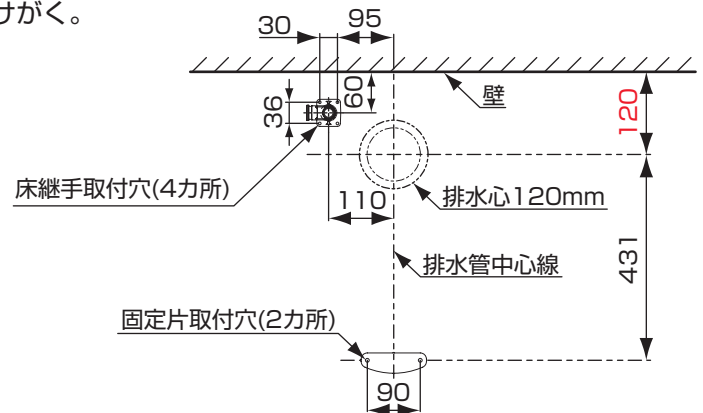
(単位：mm)



2 (排水心120mmの場合 固定穴位置のけがき)

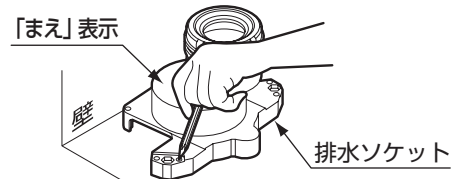
①排水配管基準にて床継手取付穴位置(4カ所)および固定片の取付穴位置(2カ所)をけがく。

(単位：mm)



②排水ソケットを仮置きし、排水ソケット取付穴位置をけがく。

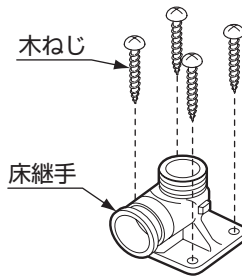
※排水ソケットの取付方向を確認してください。
「まえ」表示が壁側になるように設置してください。



3 給水金具の取り付け

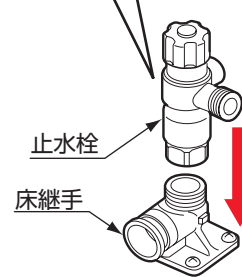
手順1

床継手を所定の位置に木ねじ(4本)で固定する。



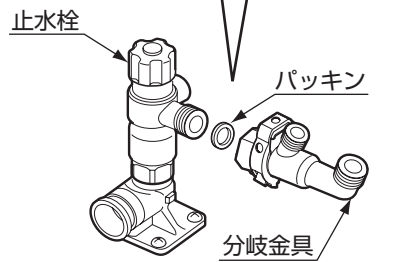
手順2

床継手に止水栓をねじ込む。
※ねじ部にはシールテープを巻いて、取り付けてください。



手順3

止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。

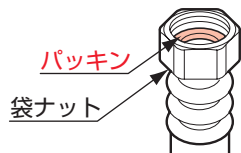


*オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

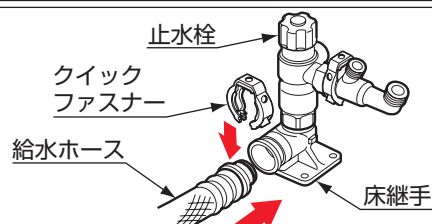
4 給水ホースの接続

⚠注意

- 床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
 - クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
 - カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- 袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
 - 給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する
- 水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

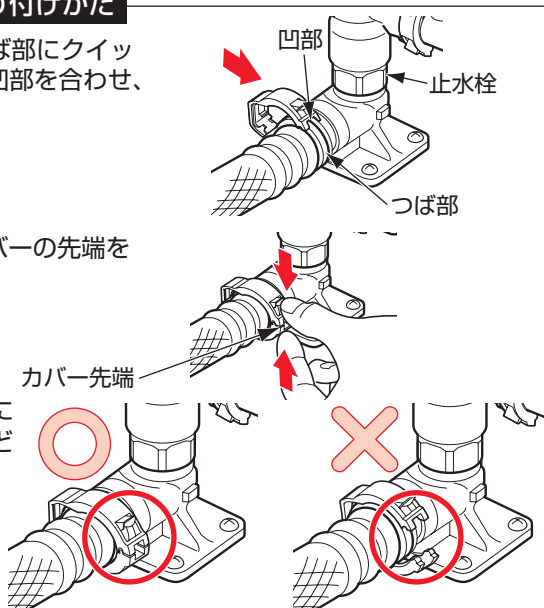


①床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。

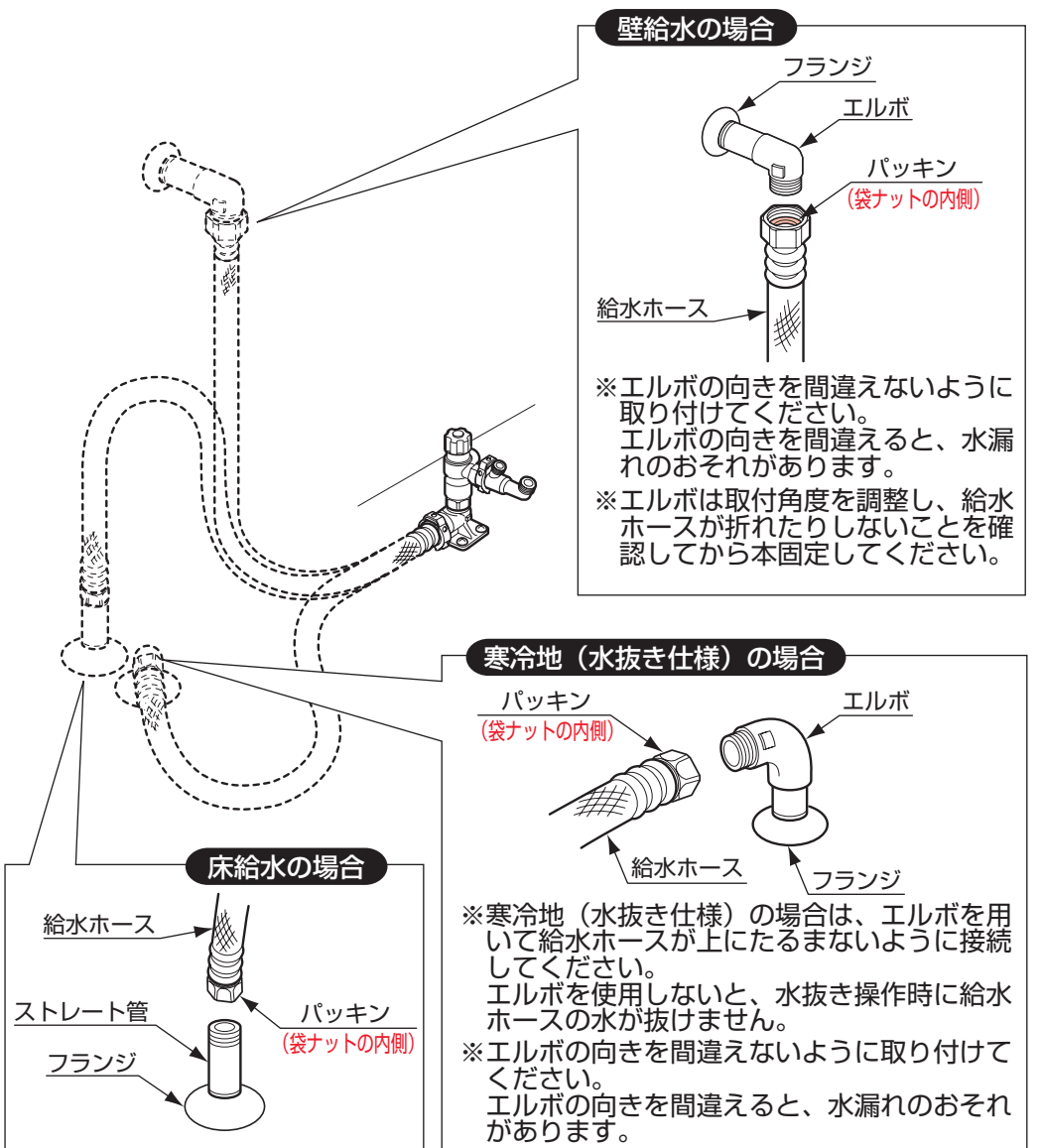


クイックファスナーの取り付けかた

- 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部を合わせ、真っすぐ押し込む。
- クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。
- クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



②既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管(床給水の場合)またはエルボ(壁給水や寒冷地の場合)を取り付け、給水ホースを接続する。



*オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

5 固定片・排水ソケットの取り付け

⚠注意

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
確実ににはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

接着剤塗布位置を確認する

排水管の種類によって異なりますのでご注意ください。また接着剤塗布面は、排水ソケット内周、排水管外周となります。間違えますと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する

片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

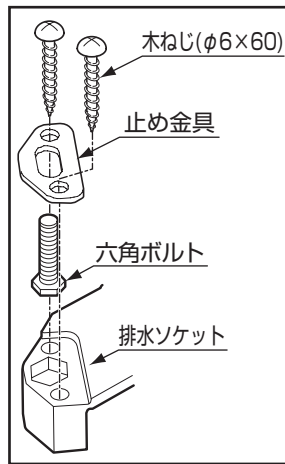
排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む

押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

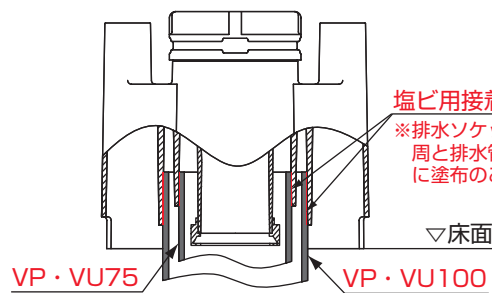


必ず実行

- 排水ソケットの前後を確認する。
「まえ」表示のある方が前になります。
- 排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケット下面が床面につくまで、排水ソケットを押し込む。
- 排水ソケット後固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通して、木ねじで床に固定する。
- 排水ソケット前側を、木ねじで床に固定する。
- 固定片を中心線に合わせて、木ねじで床に固定する。
- 固定片は、図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- 接着ブロックの上に付属の注意書（クラフト紙）をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

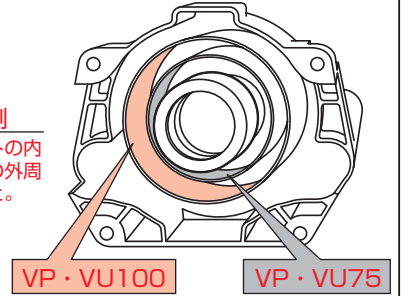


<ソケットの代表例>

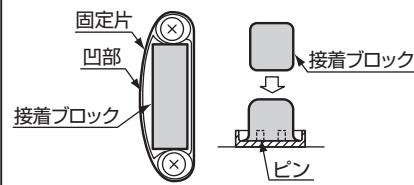


※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。
※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

<ソケットの代表例>



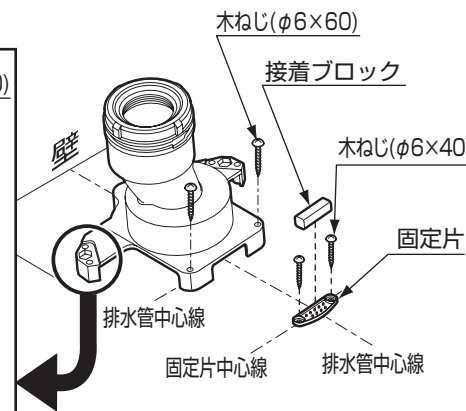
<接着ブロックについて>



※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。

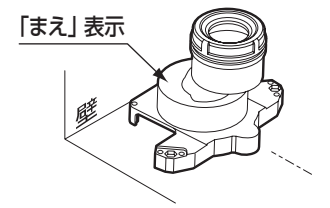
※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を左図のように整えてください。
※接着ブロックの方向性は特にありません。
※気温が下がると接着ブロックが固くなることがありますので、このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

排水心200mmの場合



排水心120mmの場合

※排水ソケットの取付方向を確認してください。
「まえ」表示が壁側になるように設置してください。



6 便器の取り付け

手順1

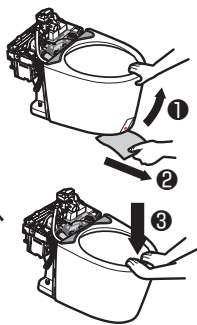
分岐金具を外向きに回転させておく。（便器に干渉しないように）

注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

手順3

- センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

- センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

手順4

便器側の取付穴（2カ所）をワッシャー、ナットで固定する。

注意

ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

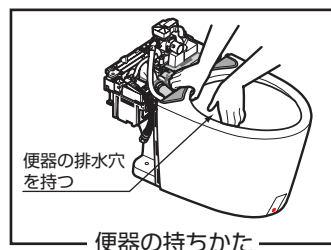
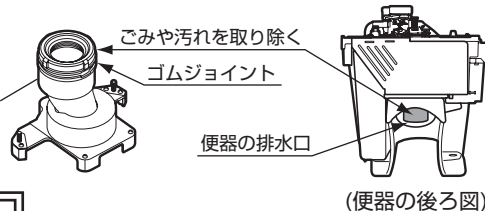
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

手順2

- 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。
- 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。

ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として壁から10～15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。

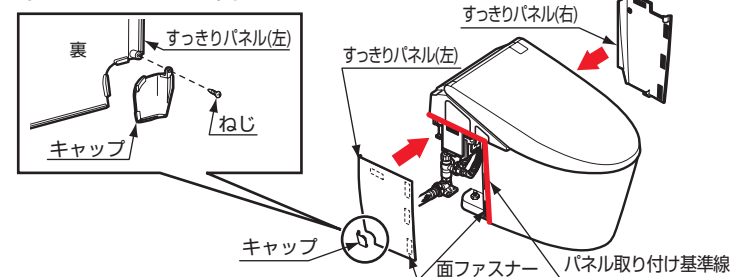


ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

- すっきりパネル（左）からねじを外して、キャップを取り外す。
- ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤線）に合わせて取り付ける。
※このとき、面ファスナー部（4カ所）をしっかりと押さえてすっきりパネルが外れないこと、および給水ホースとすっきりパネルとの干渉がないことを確認してください。



取り付け後の確認

- 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめてできません。
フローリング（木質系）を使用される場合は、便器下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめします。

